

SDAM (空間データ分析マシン) インストールガイド

1 . インストールするソフトウェア	1
2 . Java インストール.....	1
3 . R 言語インストール.....	1
4 . R(D)COM インストール.....	4
5 . SDAM 本体インストール.....	4
6 . SDAM の実行.....	9
7 . SDAM 本体のアンインストール.....	11

1 . インストールするソフトウェア

SDAM(空間データ分析マシン)に必要なインストールするソフトウェアを表1に示す.

表1 SDAMの動作に必要なソフト

ソフト名	入手先	使用バージョン
Java 2 SE	http://java.sun.com/j2se/1.4/ja/index.html	1.4.2X以上
R 言語	CD-ROM	1.9.1
R(D)COM	CD-ROM	1.3.5

以下ではインストール手順を説明していく.

2 . Java インストール

Java 2 SE(Standard Edition)を,表1の入手先より,JRE または SDK をダウンロードする。ダウンロードしたプログラムを実行し,インストールをおこなう.

なお,すでに Java 2 SE をインストール済みの場合は再度インストールする必要はない.

3 . R 言語インストール

(1) 本 CD-ROM の“ r “ ディレクトリ下のサブディレクトリ rw1091 内にある R 言語

の Windows 版インストールプログラム rw1091.exe を実行する。

(2) rw1091.exe を実行後，インストールが開始される (図 1) . インストール先のディレクトリを変更したい場合以外は，デフォルトのままおこなう(図 2) . これ以降の操作はすべてデフォルトのままでおこなう。

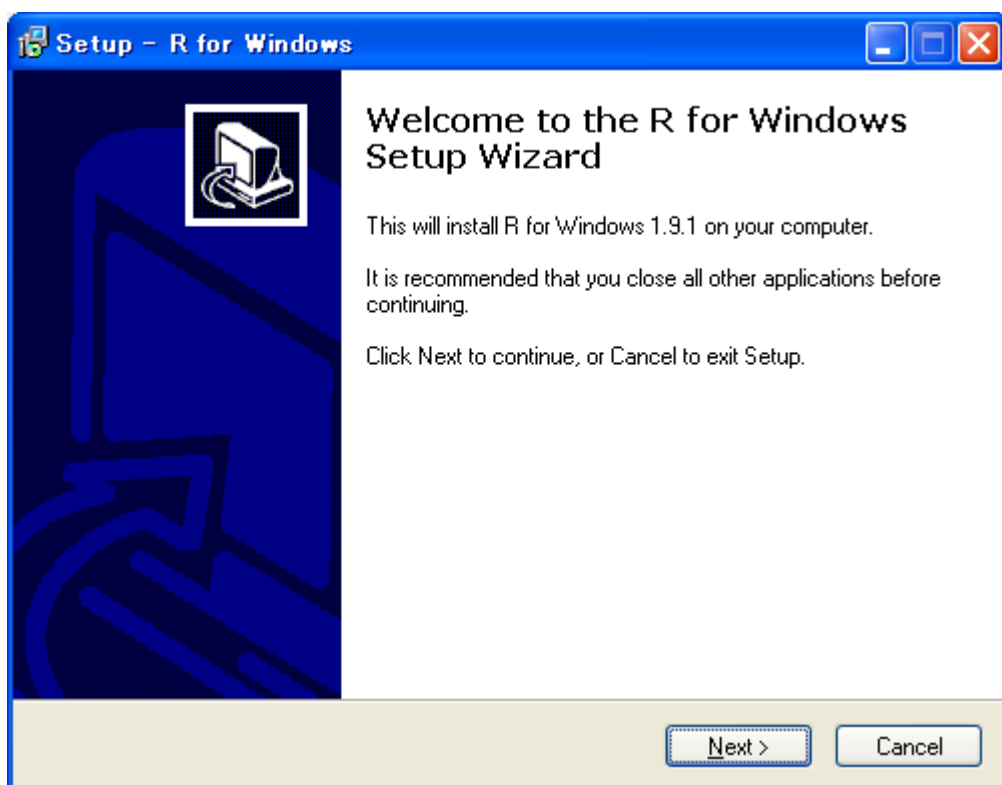


図 1 R 言語インストールプログラム rw1091.exe の実行

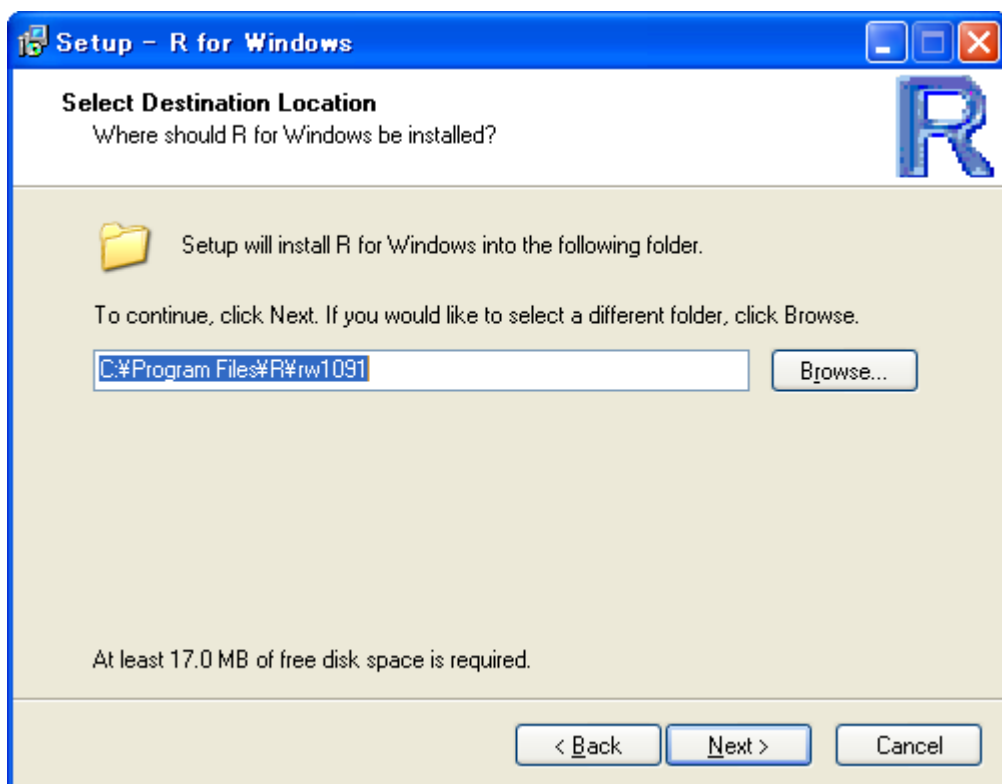


図2 R言語のインストール先の設定

(3) インストール完了後、Windowsのデスクトップに、図3のR言語のアイコンが表示される。これをクリックすると、対話型環境のR言語が実行され、エラーが出なければ、インストールが正常におこなわれたことがわかる。空間データ分析マシンの実行には、対話型環境のR言語の実行は必要ないので、動作が正常であることを確認したら、対話型環境のR言語の実行を終了させる。



図3 デスクトップ上のR言語のアイコン

4 . R(D)COM インストール

R(D)COM は、VisualBasicやVC++などのプログラム言語で作成されたプログラムより、また、Excelのスク립ト言語VBAより、R言語を使用できるようにするアプリケーションである。

本CD-ROMの“r”ディレクトリ下のサブディレクトリr(d)com内にあるR(D)COMインストールプログラムの“RSrv135.exe”を実行して、インストールをおこなう(図4)。

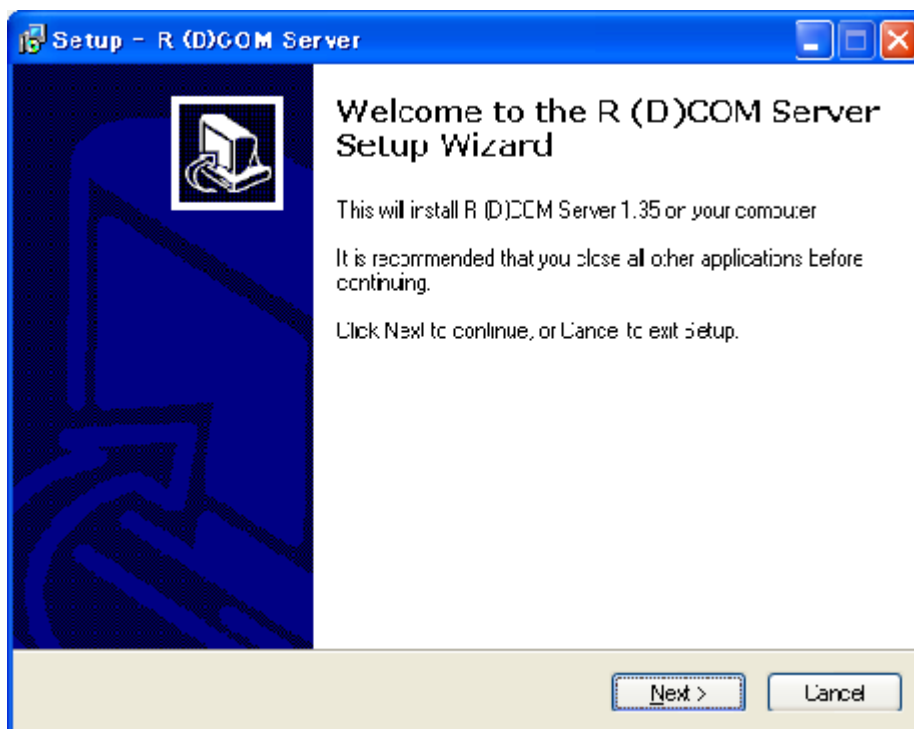


図4 R(D)COMのインストールプログラム

インストール終了時に、PCを再起動するかどうかをたずねるメッセージが出るので、“Yes”のボタンを押して再起動する。

5 . SDAM 本体インストール

一部のセキュリティソフトウェアではSDAMの機能の一部が利用できない場合があるので、その際はセキュリティソフトウェアの機能を一部停止させると動作できる場合がある。

(1) 本 CD-ROM の “ bin “ ディレクトリ内にある SDAM のセットアッププログラム setup.exe をマウスでダブルクリックして起動する .

(2) 起動後 , 「空間データ分析マシン SDAM セットアップ」ウィンドーが表示される(図 5) .

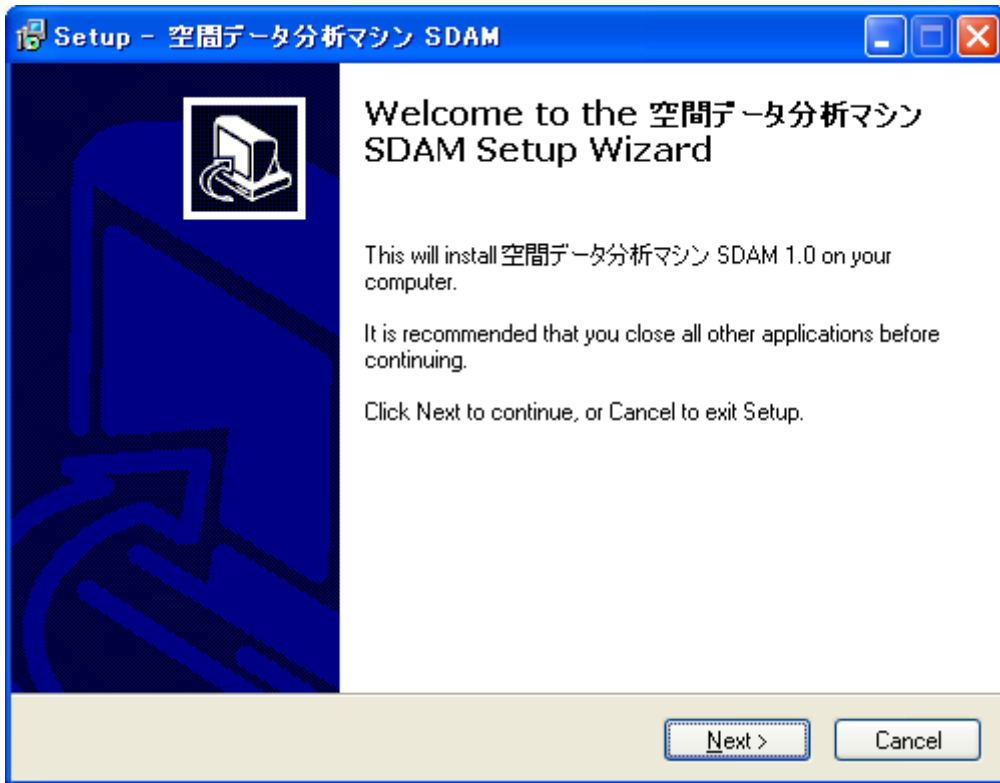


図 5 SDAM の「空間データ分析マシン SDAM セットアップ」ウィンドー

(3) インストールを続けるために , 「次へ」ボタンを押し , インストールを中断するのであれば , 「キャンセル」ボタンを押す . これ以降も , 「キャンセル」ボタンは表示されるので , 途中で , インストールを中断したければ , このボタンを押す .

インストールの処理を続けると , セットアッププログラムが , 空間データ分析マシンのインストール先の指定を求めてくる (図 6) .

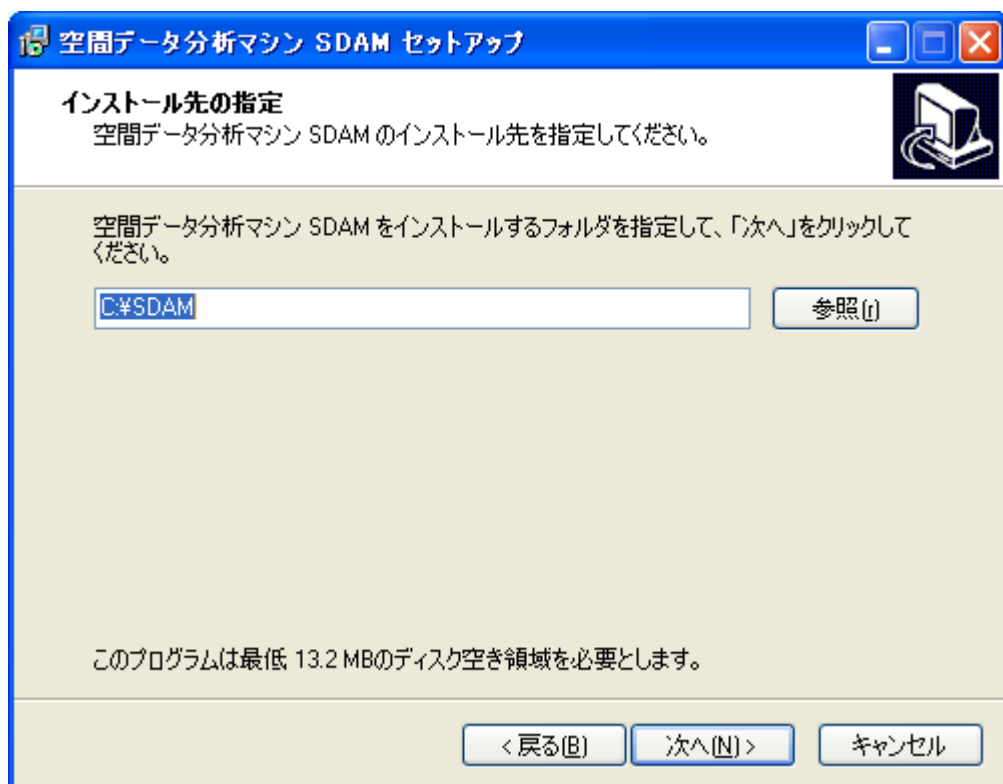


図 6 インストール先のディレクトリの指定画面

ここで、インストール先のディレクトリを指定する必要がある場合は指定をおこない、そうでなければ、「次へ」ボタンを押して次に進む。

(4) 次に追加タスクの選択をする(図7)。

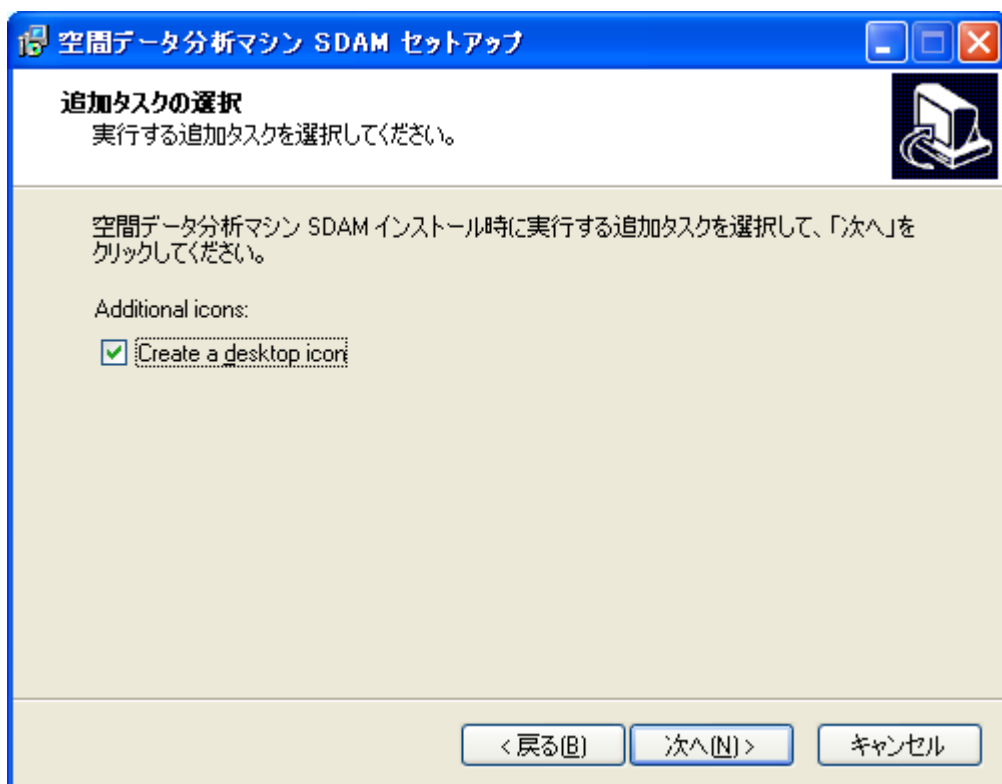


図7 追加タスクの選択画面

以上でインストールの準備は完了した。完了した旨の表示ができる(図8)。ここで、問題点があれば、「戻る」ボタンを押して、設定をやりなおすことができる。そうでなければ、「インストール」ボタンを押して、インストールを開始する。

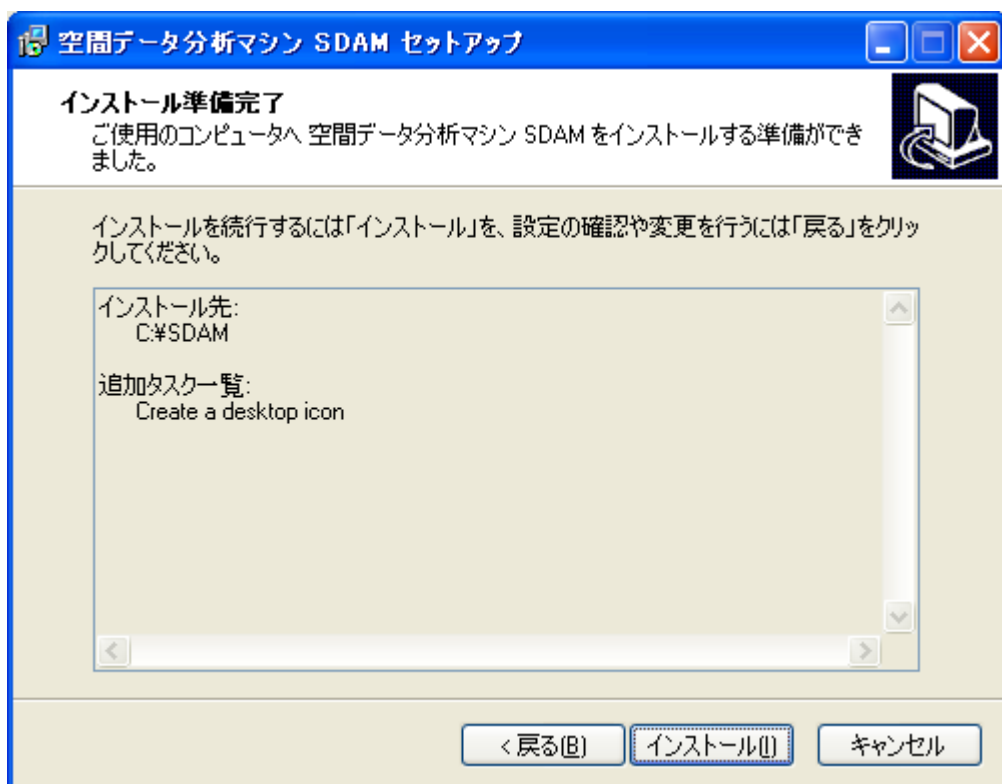


図 8 インストールの準備完了のメッセージ画面

インストールが終了すると、図 9 のインストール完了画面が表示される。「完了」ボタンを押すと、セットアッププログラムが終了する。

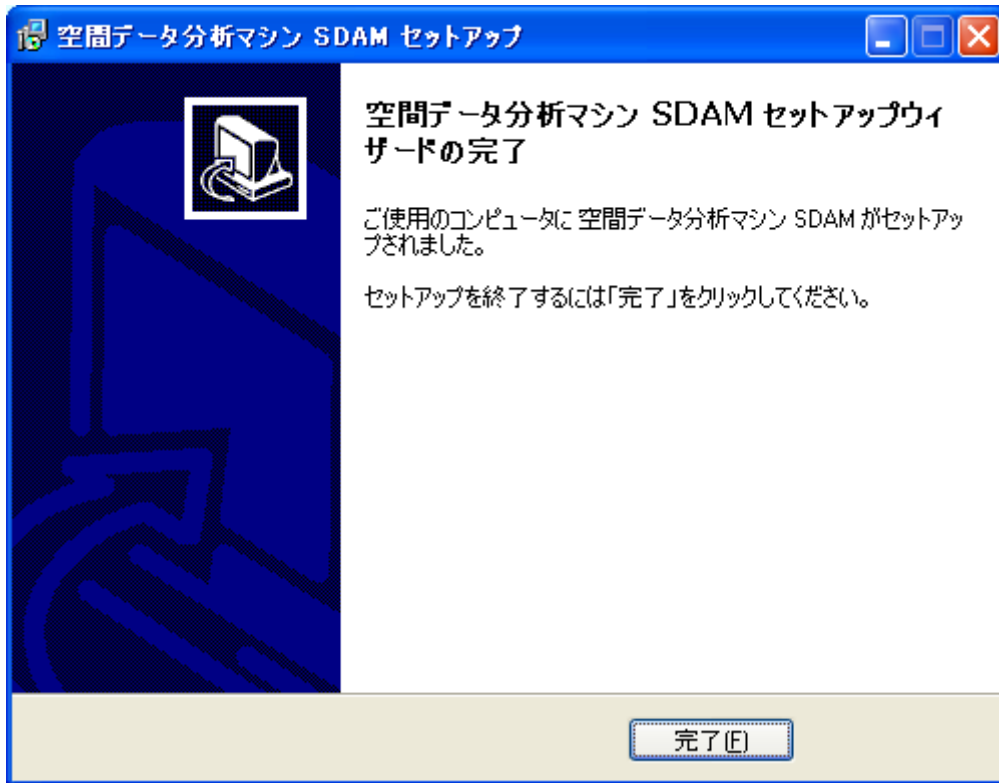


図9 インストール終了画面

6 . SDAM の実行

図6で指定したインストール先のディレクトリを開く(図10)。

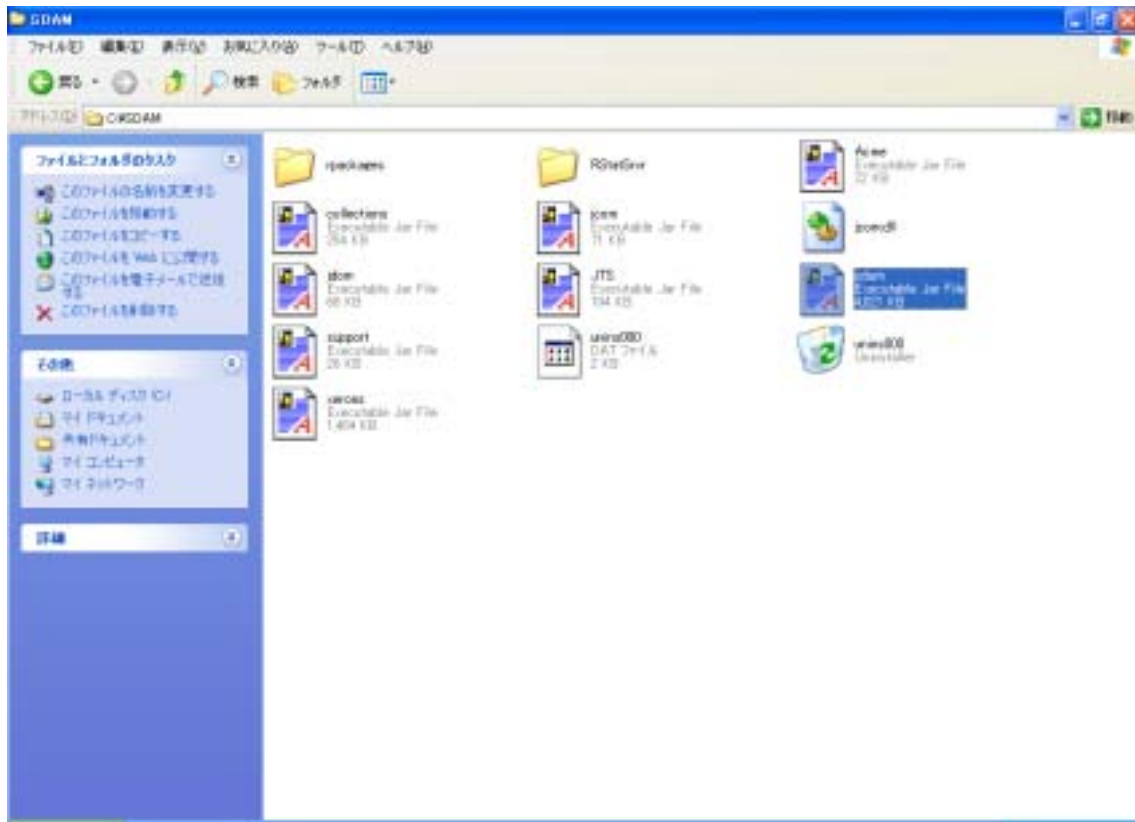


図 1 0 SDAM のインストール先のディレクトリ

ディレクトリ内の「sdam.jar」をダブルクリックすると、SDAM が実行される(図 1 1)。

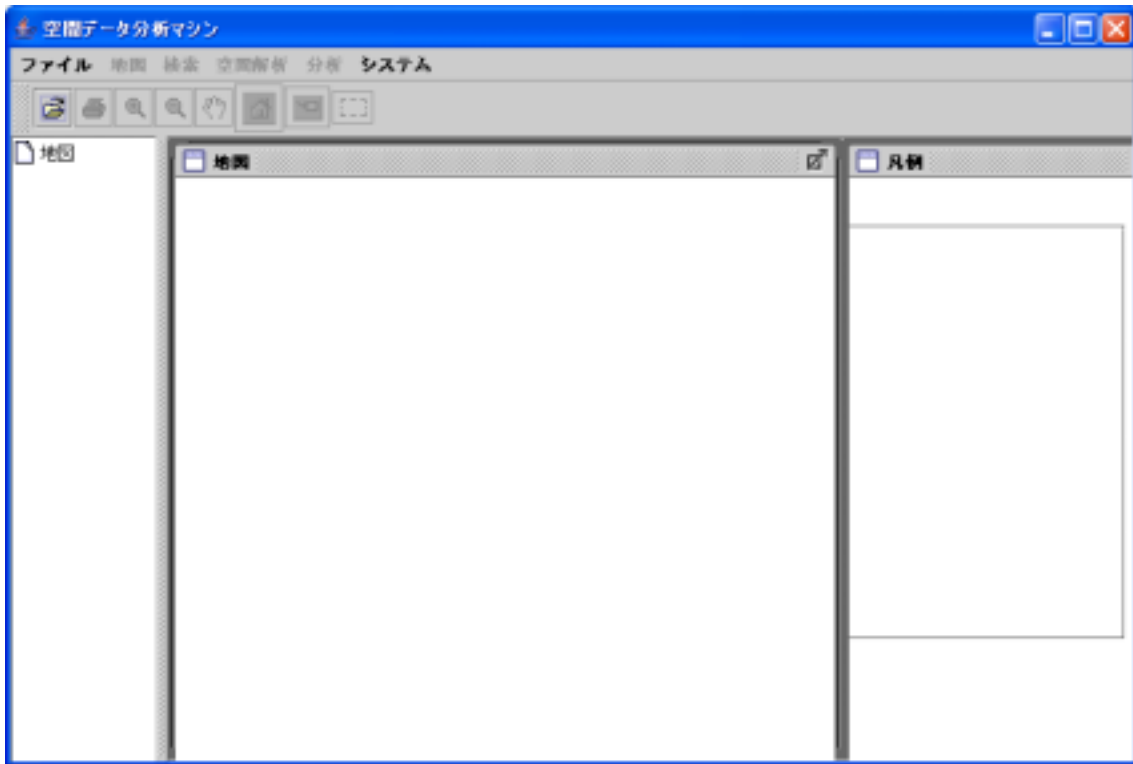


図 1 1 SDAM の実行画面

7 . SDAM 本体のアンインストール

Windows の「スタート」ボタンを押し、表示されたメニューより「コントロール・パネル」を選択する。「コントロール・パネル」内の「プログラムの追加と削除」を選択して実行する（図 1 2）。

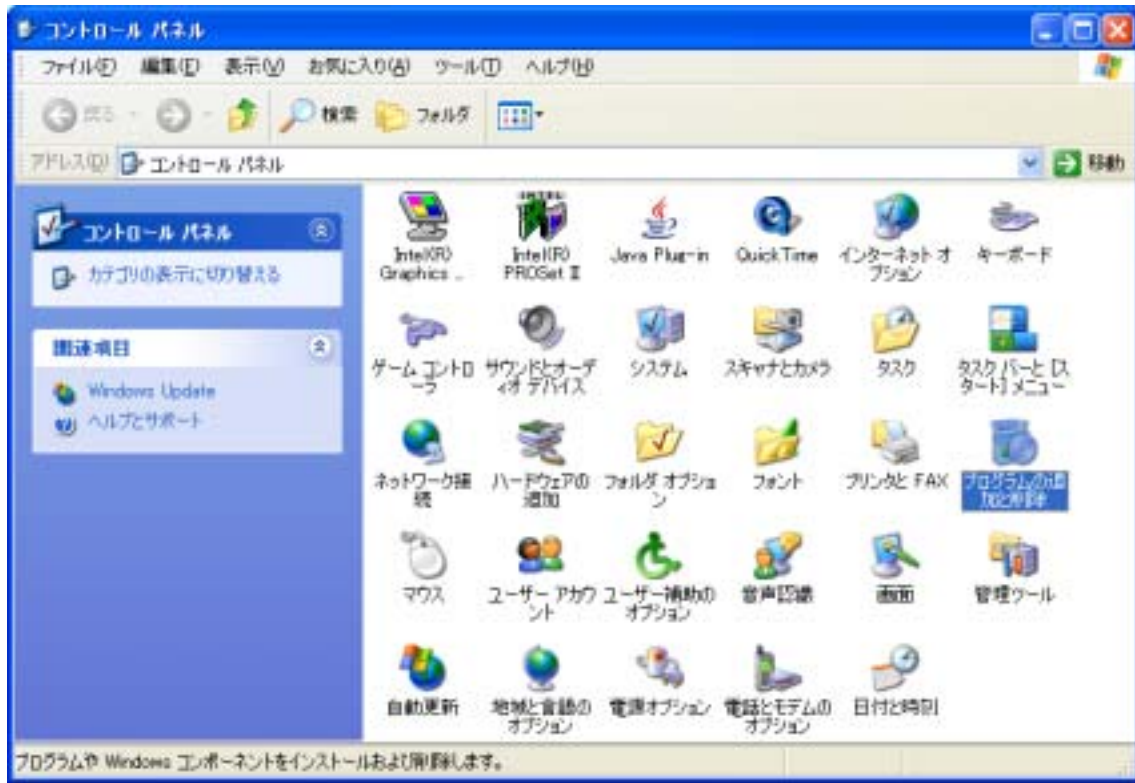


図 1 2 「コントロール・パネル」内の「プログラムの追加と削除」を選択

「プログラムの追加と削除」のプログラムリストより「空間データ分析マシン SDAM 1.0」を選択する（図 1 3）。

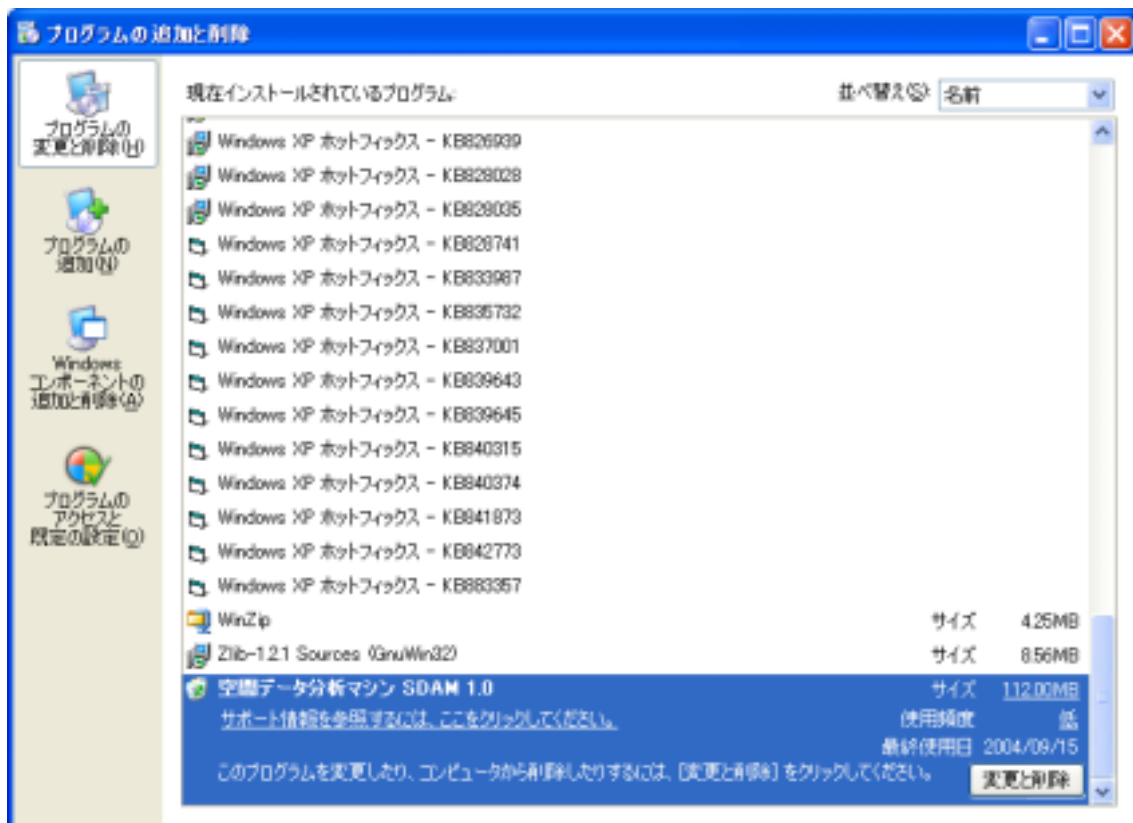


図 1 1 コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」で「空間データ分析マシン SDAM 1.0」を選択

「空間データ分析マシン SDAM 1.0」を選択後，図 1 2 が表示される。

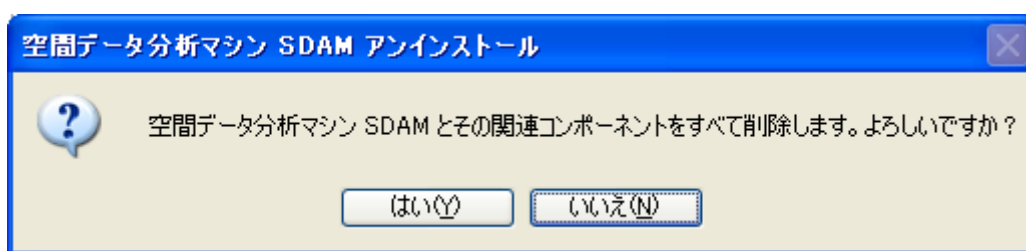


図 1 3 「空間データ分析マシン SDAM」アンインストール

図 1 4 で「はい」を選択すると，アンインストールが開始される。

アンインストール終了後，図 1 3 の終了メッセージが表示される。



図 1 4 アンインストール終了後の終了メッセージ

以上でアンインストールの処理が完了される。